

公益財団法人肥後奨学会令和6年度事業報告書

I) 有斐学舎の運営

(1) 入舎生の状況

- ・令和6年4月新入舎生（志木寮）は12名、全舎生41名でスタート。（⇒5月1日～3日の3日間で一橋学園寮への引越し終了）。令和6年度中に2名が退舎し2名が入舎。令和6年度末に計9名が一橋学園寮を退舎。内訳は3月の卒業退舎が7名、留年2年目が入舎が1名、院進学で大学寮への移動が1名。（令和5年度末の退舎生は15名）。
- ・令和7年4月に新舎生18名が入舎したため、現在50名（一橋学園寮定数60名）。
- ・令和7年4月の在舎生について
現在の名簿（別紙参照：出身高校別、在大学別）
- ・卒舎学生（令和7年3月）進路について 別紙参照

(2) 有斐学舎の運営

- ・学舎運営の財源は、収益事業が無い場合主に舎生の舎費収入と熊本県からの補助金である。舎生からの舎費は口座振替サービス導入で収入確保に努め未収無し。なお、従来の舎費未収分（R3～5年度：159,000円）については、令和6年度末に全額を回収出来た。
- ・運営に関しては、有斐学舎一橋学園寮では賃借料（2,280万円/年）が令和6年度より発生。光熱水料費も653万円（R6年度）と令和5年度より155万円増となっているが、志木寮の土地売却による5億2,946万円の売却益及び2,718万円の損害保険金が入り、令和6年度の一般正味財産期末残高は令和5年度末と比較し4億6,273万円増加（R6年度末残高：12億1,438万円）している。なお、舎費に関しては、令和7年度及び令和8年度の2カ年に分けて計25%の値上げを実施する。
- ・基本財産3億円に特定資産1億1,800万円を加えた合計4億1,800万円を基金としている。運用に関しては、令和7年度より資金運用委員会を設置し、資産運用（R7年度運用額：7億円）を資金運用管理規程に基づき適宜適確に進めることで、収支均衡策を着実に図っていきたいと考えている。

(3) 有斐学舎の設備環境（セキュリティ含）や地域コミュニティについて

- ・一橋学園寮として東京都小平市に移転して約1年余り。立地状況や居住面及びセキュリティ対策を含め、志木寮と比べると数段恵まれた設備環境となった。入館時の顔認証システムや寮内防犯カメラ設置（10台）等、ハード面での対策を着実に進めた。
- ・令和6年度はホームページを全面的にリニューアル。設備案内（セキュリティ対策含）、学舎の年間行事や募集要項等、有斐学舎一橋学園寮の各コンテンツをビジュアル面でも分かりやすく伝えられるよう工夫した。
- ・地域社会の理解・協力が得られなければ学舎が存続するのが難しいことを踏まえ、その一環として地域活動等への参加を促した（小平市少年少女マラソン大会（11月17日）にボランティアとして舎生2名が参加）。

(4) 役員会の開催

- 令和5年度事業報告書案並びに収支決算案を審議する理事会は6月15日(土)、定時評議員会を6月30日(日)に開催した。令和6年度の事業計画書案及び収支予算書案を決める春の理事会と評議員会は、3月22日(土)に、これまで通り同日に合同会議にて開催した。但し、両会議における議決は、個別に実施した。

その他を含む役員会は、下記のとおり。

- 役員名簿(令和6年6月30日現在)について 別紙参照

① 理事会

開催月日	会議事項	会議の結果
令和6年6月15日	(1) 令和5年度事業報告書案及び決算報告書案について	(1)(2)(3)(4)(5) 事務局案を可決
	(2) 令和6年度定時評議員会開催について	
	(3) 理事、監事及び評議員候補者の推薦について	
	(4) 松原浩常務理事の退職に伴う退職金の支払について	
	(5) ホームページリニューアルについて	
	(報告事項)・有斐学舎移転にかかった費用について・義援金について ・非常勤職員委嘱について ・有斐学舎志木寮の土地・建物の売却について・食事の委託費及び食材費の値上げについて	(報告事項) 事務局案を説明
令和6年6月30日	(1) 代表理事及び常務理事の選任について	(1)(2) 事務局案を可決
	(2) 新代表理事の所信表明	
令和6年8月24日	(1) 臨時評議員会の開催について	(1)(2)(3)(4) 事務局案を可決
	(2) 有斐学舎志木寮の入札結果及び売却について	
	(3) 定款の変更について	
	(4) 令和7年4月からの舎費の改訂について	
	(報告事項) 有斐学舎一橋学園寮開寮式について	(報告事項) 事務局案を説明

令和7年3月22日	(1) 評議員会の開催について	(1)(2)(3)(4) 事務局案を可決
	(2) 令和7年度の事業計画書案及び収支予算書案について	
	(3) 資金運用委員会の設置と基本財産等の運用について	
	(4) 定款の変更について	
	(報告事項)・令和7年度入舎希望者状況について ・企業サポーター制度の検討について	(報告事項) 事務局案を説明

②評議員会

開催月 日	会議事項	会議の結果
令和6年6月30日	(1) 令和5年度事業報告書案及び決算書案について	(1)(2)(3)(4) 事務局案を可決
	(2) 理事・監事・評議員の選任について	
	(3) 松原常務理事の退職に伴う退職金の支払について	
	(4) ホームページのリニューアルについて	
	(報告事項)・有斐学舎移転にかかった費用について ・義援金について ・非常勤職員嘱託について ・有斐学舎志木寮の土地、建物の売却について ・食事の委託費及び食材費の値上げについて	(報告事項) 事務局案を説明
令和6年8月24日	(1) 有斐学舎志木寮の入札結果及び売却について	(1)(2)(3) 事務局案を可決
	(2) 定款の変更について	
	(3) 令和7年度4月からの舎費の改訂について	
	(報告事項) 有斐学舎一橋学園寮開寮式について	(報告事項) 事務局案を説明

令和7年3月22日	(1) 令和7年度事業計画書案 及び収支予算書案について	(1)(2)(3) 事務局案を可決
	(2) 資金運用委員会の設置と 基本財産等の運用について	
	(3) 定款の変更について	
	(報告事項)・令和7年度入舎 希望者状況について ・企業サポーター制度の検討 について	(報告事項) 事務局案を説明

③運営委員会

- ・財団の適正かつ健全な運営のために、理事長及び在京・在熊役員等による運営委員会
会議を毎月一回開催（Zoom 方式）し、主に以下の項目の検討（協議）を行った。
 - 予算・決算原案等の検討
 - 事業計画や課題改善の進捗状況共有
 - 学舎指導状況や新舎生募集関係 等

II) 在舎学生の指導

- ・舎則を遵守していない場合等は適宜、直接、指導を行うと共に、注意事項についてはタイムリーに改善を促すべく LINE にて全舎生に周知。なお、保護者との連絡（月1回以上）は主に LINE で行っており、相互のコミュニケーションが一層図られるよう努めた。
- ・7月（1・2年生中心に全舎生の9割弱）と12月（全舎生）に在舎生との面談を行った。舎生のニーズを聞くことと併せて、大学で何を学びかつ将来何をを目指したいのか等、今後の大学生活の充実に繋がるよう丁寧に聴取した。
- ・毎月15日夜10時から開催する舎生総会を開催。舎生からの意見・要望を聞く事に加え、肥後奨学会側から寮運営の方針・方策等を幹事から伝えた。
- ・令和5年度の学舎行事は火災の影響で成人式や卒舎式は実施出来なかったが、令和6年度は有斐祭を含む全ての年間行事を、寮長・副寮長による自治会主催のもと、多くの舎生参加にて催すことが出来た。加えて、9月28日には新たな有斐学舎一橋学園寮の門出を誓う開寮式を、熊本県を始め関係各位のご支援とご協力にて開催することが出来た（熊本日日新聞社及びテレビ熊本にて式典の様子を報道・放映頂いた）。
- ・安全面の取組みとして、小平消防署ご協力の下、消防避難訓練を舎生参加にて実施（12月21日）。消火器を実際に使った消火訓練を含め、避難消火活動の実践力の向上に努めた。参加者26名（舎生21名）。
- ・就職活動に資する取組みとして、熊本主要企業5社様（鶴屋、肥後銀行、熊本日日新聞社、KM バイオロジクス、平田機工）による「合同企業説明会」を有斐学舎で実施（2月5日）。この活動を通じて舎生はもとより有斐学舎と熊本主要企業との Win-Win の関係も構築し、結果として、今後の企業サポーター制度創設に繋がりたいと考えている。
⇒当日(2/5)、理事長より参加企業5社様へ「企業サポーター制度の創設について」説明。
- ・日刊紙の購入は日経新聞（購読）のみ。熊本日日新聞については無料で提供（郵送）あり。

(1) 有斐学舎の行事

令和 6 年度有斐学舎の行事

○入舎式 4 月 14 日(日)実施。三角理事が池邊理事が参加し挨拶。新入舎生 12 名が出席、在舎生も多数参加。
○新入生歓迎旅行 5 月 25 日(日) 上野動物公園で日中楽しんだ後、町田小田急百貨店屋上 (BBQ) で歓迎会を実施。全体で舎生 30 名が参加。
○大掃除 (夏) & お疲れ様会 7 月 27 日(土)午前中に学舎一橋学園寮を大掃除。 ⇒共用スペース掃除 (風呂・食堂・ベランダ・廊下・玄関・階段等)。夕方からは国分寺の居酒屋でお疲れ様会を実施 (全体で舎生 20 名が参加)。
○有斐祭 10 月 26 日(土)、27 日(日)の 2 日間に亘り実施。初日午前中は寮の大掃除を行い、午後はスポーツ大会 (フットサルとボウリング) を 3 班に分かれ実施。2 日目は昼から BBQ (昭和記念公園) で楽しみ、夕食後、結果発表 (表彰式) を食堂で行った。⇒参加者 31 名。
○成人式 1 月 15 日(水)実施。三原理事長からのメッセージを代読。2 千円の図書券とクオカード 1 千円(計 3 千円)、成人を迎えた学生全員 (9 名) に配布。
○合同企業説明会 2 月 5 日(水)に熊本主要企業 5 社様 (鶴屋、肥後銀行、熊日、KM バイオロジクス、平田機工) のご協力を得て、合同企業説明会を学舎で開催。
○卒舎会 2 月 25 日(火)実施。理事長及び幹事から餞の挨拶。卒舎生から寮生活への感謝の言葉、また在舎生を代表し寮長から送辞を述べた。⇒参加者 15 名。

Ⅲ) 舎生の募集

(1) 新舎生募集説明会の実施

事前に HP 等で案内を行った上で、10 月 12 日 (土) くまもと交流会館パレアで新舎生募集説明会を行った (理事長、常務理事出席)。参加者は 23 名 (保護者・受験者本人含)。

(2) 募集要項等の配布

令和 7 年度募集要項を作成し、熊本県県政情報文書課、熊本県東京事務所を始め、熊本県下高校や大学予備校に送付。関係者を通じて募集チラシの配布をお願いした。

(3) 熊本県下高校などへ推薦依頼

熊本県下高校や大学予備校を訪問。校長先生や進路指導の先生などに、有斐学舎の募集ポスター・チラシを渡し、学生への掲示、推薦をお願いした。

(4) 熊本県県立・私立校長会へのお願い。

熊本県県政情報文書課ご協力の下、熊本県立高校長会、私立高校長会で有斐学舎募集について説明して頂き、関係生徒への周知と推薦をお願いした。

(5) 各新聞、放送局等マスメディアへ依頼

熊本日新聞、読売新聞社に募集要項の掲載をお願いし、2 社とも紹介記事を掲載。
⇒熊日日新聞社：6 月 23 日掲載、読売新聞社：12 月 31 日掲載。

(6) 各市町の広報誌に PR 掲載

熊本市など県内の市町村の広報誌に、募集要項内容の記事掲載をお願いし、宇城市の広報誌には掲載頂いた。

(7) 新舎生募集面接

推薦入試やAO入試など入学選抜試験のやり方が多様化しているため、現状に合わせ、面接1回目を1月25日(土)に、2回目は3月15日(土)にどちらも熊本市で実施。3回目は有斐学舎一橋学園寮で3月27日(木)実施。*全面接に理事長、常務理事出席。

・令和7年1月25日(土) 於 熊本国際友好交流会館

男子6名 女子6名 計 12名

・令和7年3月15日(土) 於 熊本国際友好交流会館

男子4名 女子3名 計 7名

・令和7年3月27日(木) 於 有斐学舎一橋学園寮

男子1名 女子1名 計 2名

⇒新舎生(R7年度)は、合計18名<男子10名(1名は3年生編入)、女子8名>。

IV) 付属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する付属明細書は、事業内容を補足する重要な事項が無いため作成しない。

(注)

第3項

「事業報告の付属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。」

以 上